

# 天龍村の給与・定員管理等について

## 1 総括

### (1) 人件費の状況（普通会計決算）

| 区 分 | 住民基本台帳人口<br>(7年1月1日) | 歳 出 額<br>A      | 実質収支         | 人 件 費<br>B    | 人件費率<br>B/A | (参考)<br>5年度の人件費率 |
|-----|----------------------|-----------------|--------------|---------------|-------------|------------------|
| 6年度 | 人<br>991             | 千円<br>2,442,960 | 千円<br>65,054 | 千円<br>430,933 | %<br>17.6   | %<br>13.0        |

### (2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

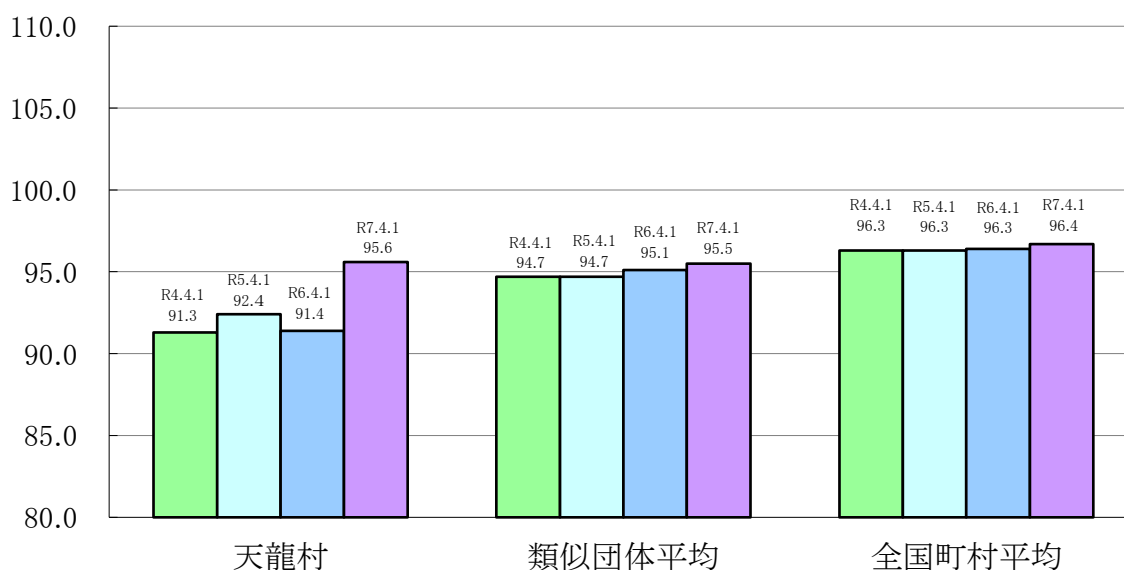
| 区 分 | 職員数<br>A | 給 与 費         |              |              |               | (参考)<br>一人当たり給与<br>費<br>B/A | (参考)<br>類似団体平均<br>一人当たり給<br>与費<br>千円 |
|-----|----------|---------------|--------------|--------------|---------------|-----------------------------|--------------------------------------|
|     |          | 給 料           | 職員手当         | 期末・勤勉手当      | 計 B           |                             |                                      |
| 6年度 | 人<br>37  | 千円<br>129,779 | 千円<br>11,917 | 千円<br>52,535 | 千円<br>194,231 | 千円<br>5,249                 | 千円<br>5,693                          |

(注) 1 職員手当には退職手当を含まない。

2 職員数については、6年4月1日現在の人数である。また、任期付短時間勤務職員、暫定再任用職員（短時間勤務）、定年前再任用短時間勤務職員及び会計年度任用職員を含まない。

3 給与費については、任期付短時間勤務職員、暫定再任用職員（短時間勤務）及び定年前再任用短時間勤務職員の給与費が含まれているが、会計年度任用職員の給与費は含まれていない。

### (3) ラスパイレス指数の状況



(注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を100として計算した指数。

2 ( ) 書きの数値は、地域手当補正後ラスパイレス指数を指す。地域手当補正後ラスパイレス

指数とは、地域手当を加味した地域における国家公務員と地方公務員の給与水準を比較するため、地域手当の支給割合を用いて補正したラスパイレス指数。

(補正前のラスパイレス指数×(1+当該団体の地域手当支給割合)÷(1+国の指定基準に基づく地域手当支給割合)により算出。)

- 3 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。
- 4 ラスパイレス指数(地域手当補正後ラスパイレス指数を含む)の算出に当たっては、60歳に達した日後の最初の4月1日以後に支給される給料月額について、本来の給料月額の7割水準に設定される職員を除いている。

※ 6年4月1日のラスパイレス指数が、①3年連続で上昇している場合、②100を超えている場合について、その理由(給与制度又はその運用を踏まえ記載すること)

|  |
|--|
|  |
|--|

#### (4) 給与改定の状況 ※人事委員会は設置していない

##### ①月例給

| 区 分 | 人事委員会の勧告  |            |             |             | 給与改定率 | (参考)<br>国の改定率 |
|-----|-----------|------------|-------------|-------------|-------|---------------|
|     | 民間給与<br>A | 公務員給与<br>B | 較差<br>A - B | 勧告<br>(改定率) |       |               |
| 6年度 | 円         | 円          | 円<br>( % )  | %           | %     | %<br>3.62     |

(注) 「民間給与」、「公務員給与」は、人事委員会勧告において公民の4月分の給与額をラスパイレス比較した平均給与月額である。

##### ②特別給(期末・勤勉手当)

| 区 分 | 人事委員会の勧告      |                |             |                  | 年間支給月数 | (参考)<br>国の年間<br>支給月数 |
|-----|---------------|----------------|-------------|------------------|--------|----------------------|
|     | 民間の支給<br>割合 A | 公務員の<br>支給月数 B | 較差<br>A - B | 勧告<br>(改定月数<br>) |        |                      |
| 6年度 | 月             | 月              | 月           | 月                | 月      | 月<br>4.65            |

(注) 「民間の支給割合」は民間事業所で支払われた賞与等の特別給の年間支給割合、「公務員の支給月数」は期末手当及び勤勉手当の年間支給月数である。

#### (5) 社会と公務の変化に応じた給与制度の整備(給与制度のアップデート)の実施状況について

【概要】国家公務員給与においては、行政職俸給表(一)において3級から7級までの初号近辺の号俸をカットし、これらの級の初号の俸給月額の引上げを行うとともに、8級から10級の隣接する級間での俸給月額の重なるの解消等を行っている。その他、各種手当について見直しを行っている。

##### ①給料表の見直し

[  実施 ]     未実施 ]

実施内容（実施（実施予定）時期、具体的な実施内容（未実施の場合には、その理由））

（給料表の改定実施時期）令和7年1月15日  
（内容）令和6年度人事院勧告に基づいた改定を実施。

②地域手当の見直し ※地域手当はない。

③その他の見直し内容

扶養手当、通勤手当、単身赴任手当及び管理職員特別勤務手当について、国と同様に見直しを実施。  
（令和7年4月1日実施）

## (6)特記事項

なし

## 2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

### (1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（7年4月1日現在）

#### ① 一般行政職

| 区 分  | 平均年齢   | 平均給料月額    | 平均給与月額    | 平均給与月額<br>(国比較ベース) |
|------|--------|-----------|-----------|--------------------|
| 天龍村  | 40.6 歳 | 292,671 円 | 315,940 円 | 304,533 円          |
| 長野県  | 44.8 歳 | 336,600 円 | 405,603 円 | 369,759 円          |
| 国    | 41.9 歳 | 332,237 円 | —         | 414,480 円          |
| 類似団体 | 41.3 歳 | 309,914 円 | 360,723 円 | 341,455 円          |

#### ② 技能労務職

該当なし

#### ③ 教育職

該当なし

- (注) 1 「平均給料月額」とは、7年4月1日現在における職種ごとの職員の基本給の平均である。  
 2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。

また、「平均給与月額（国比較ベース）」は、比較のため、国家公務員と同じベース（＝時間外勤務手当等を除いたもの）で算出している。

### (2) 職員の初任給の状況（7年4月1日現在）

| 区 分   |       | 天 龍 村     | 長 野 県     | 国         |
|-------|-------|-----------|-----------|-----------|
| 一般行政職 | 大 学 卒 | 220,000 円 | 230,500 円 | 220,000 円 |
|       | 高 校 卒 | 188,000 円 | 198,700 円 | 188,000 円 |

### (3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（7年4月1日現在）

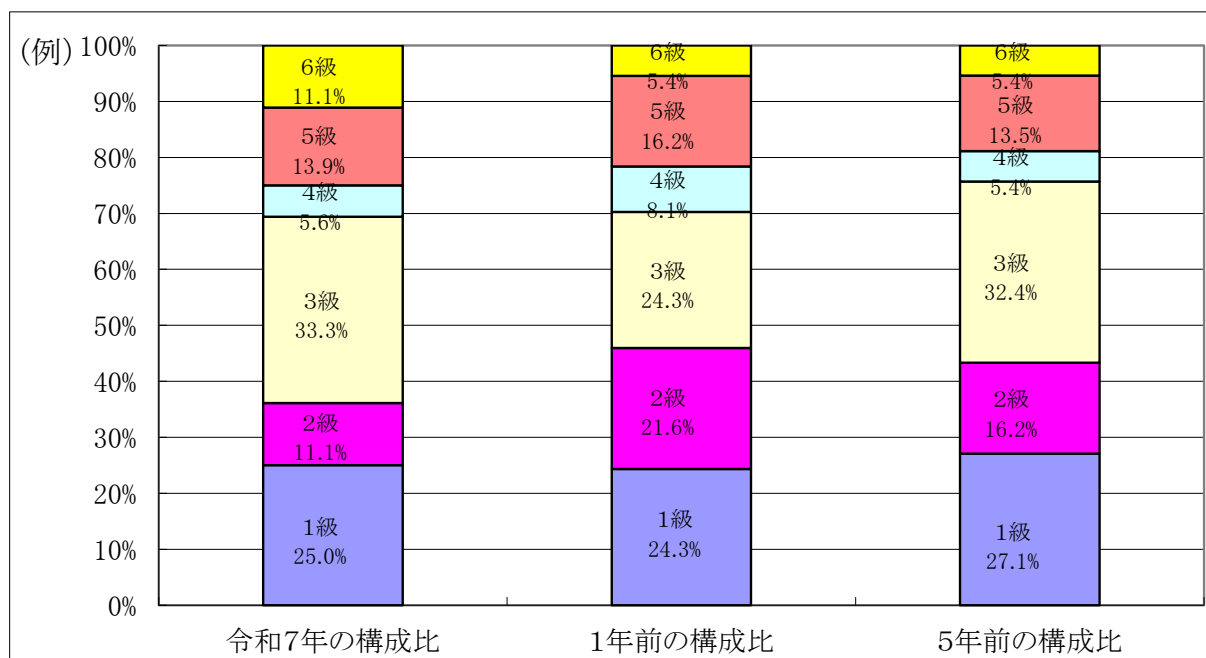
| 区 分   |       | 経験年数10年   | 経験年数20年   | 経験年数25年   | 経験年数30年   |
|-------|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 一般行政職 | 大 学 卒 | 291,100 円 | — 円       | 383,100 円 | — 円       |
|       | 高 校 卒 | 276,400 円 | 291,933 円 | — 円       | 402,240 円 |

### 3 一般行政職の級別職員数等の状況

#### (1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況（7年4月1日現在）

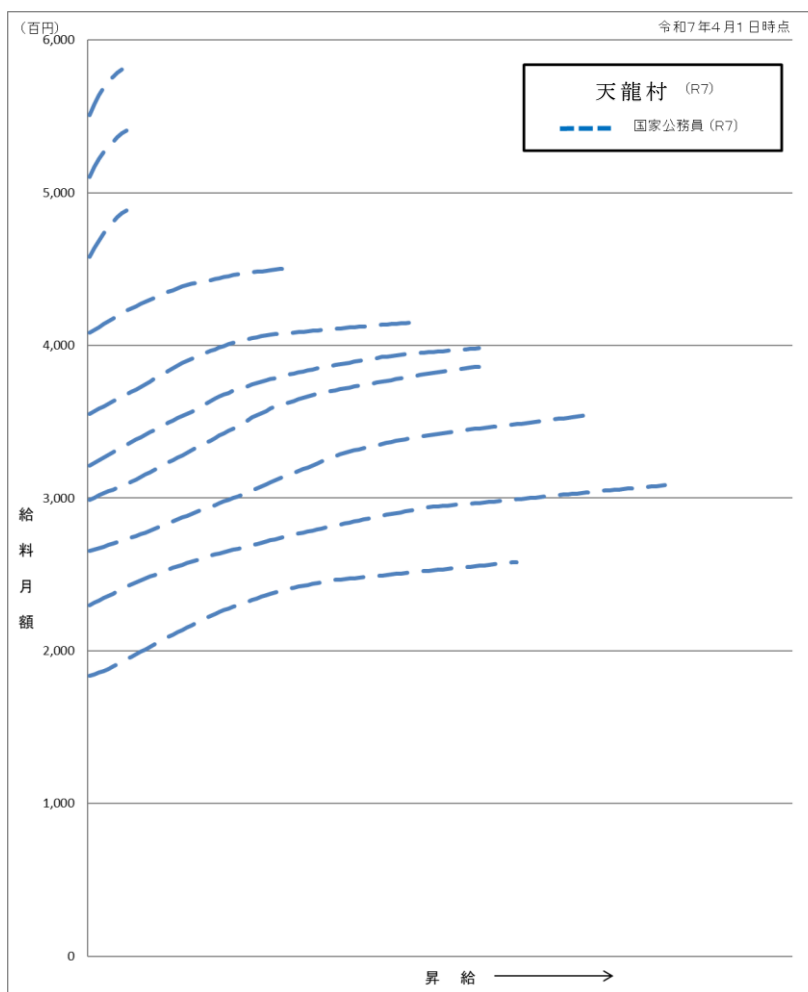
| 区分 | 標準的な職務内容                | 職員数 | 構成比   | 1号給の給料月額 | 最高号給の給料月額 |
|----|-------------------------|-----|-------|----------|-----------|
| 1級 | 主事の職務、主事補の職務            | 9人  | 25.0% | 183,500円 | 258,100円  |
| 2級 | 主任の職務                   | 4人  | 11.1% | 225,600円 | 298,000円  |
| 3級 | 主査の職務、係長・所長（南支所長を除く）の職務 | 12人 | 33.3% | 263,500円 | 354,700円  |
| 4級 | 課長補佐の職務、主幹の職務           | 2人  | 5.6%  | 298,800円 | 386,100円  |
| 5級 | 課長（南支所長を含む）の職務、参事の職務    | 5人  | 13.9% | 321,300円 | 398,200円  |
| 6級 | 困難な事務を分掌する村長が定める課長の職務   | 4人  | 11.1% | 355,200円 | 421,700円  |

(注) 1 天龍村一般職の職員の給与に関する条例に基づく給料表の級区分による職員数である。  
2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(2) 国との給料表カーブ比較表（行政職（一））（7年4月1日現在）

※国と同じ、但し6級まで。



(3) 昇給への人事評価の活用状況（一般行政職）（天龍村）

| 令和7年度中における運用    | 管理職員    |           | 一般職員    |           |
|-----------------|---------|-----------|---------|-----------|
| イ. 人事評価を活用している  | ○       |           | ○       |           |
| 活用している昇給区分      | 昇給可能な区分 | 昇給実績がある区分 | 昇給可能な区分 | 昇給実績がある区分 |
| 上位、標準、下位の区分     | ○       |           | ○       | ○         |
| 上位、標準の区分        |         | ○         |         |           |
| 標準、下位の区分        |         |           |         |           |
| 標準の区分のみ（一律）     | /       |           | /       |           |
| ロ. 人事評価を活用していない |         |           |         |           |
| 活用予定時期          |         |           |         |           |

#### 4 職員の手当の状況

##### (1) 期末手当・勤勉手当

| 天 龍 村  | 長 野 県  | 国  |
|--|--|--|
| 1人当たりの平均支給額(6年度)<br>1,420 千円                                   | 1人当たりの平均支給額(6年度)<br>1,796 千円                                     | —  |
| (6年度支給割合)<br>期末手当 2.50 月分<br>勤勉手当 2.10 月分<br>(1.40)月分 (1.00)月分 | (6年度支給割合)<br>期末手当 2.50 月分<br>勤勉手当 2.10 月分<br>(1.40)月分 (1.00)月分   | (6年度支給割合)<br>期末手当 2.50 月分<br>勤勉手当 2.10 月分<br>(1.40)月分 (1.00)月分   |
| (加算措置の状況)<br>職制上の段階、職務の級等による加算措置<br>・役職加算 5～15%                | (加算措置の状況)<br>職制上の段階、職務の級等による加算措置<br>・役職加算 5～20%<br>・管理職加算 15～25% | (加算措置の状況)<br>職制上の段階、職務の級等による加算措置<br>・役職加算 5～20%<br>・管理職加算 10～25% |

(注) ( )内は、暫定再任用職員に係る支給割合である。

##### ○勤勉手当への人事評価の活用状況（一般行政職）（天龍村）

| 令和6年度中における運用    | 管理職員     |            | 一般職員     |            |
|-----------------|----------|------------|----------|------------|
| イ. 人事評価を活用している  | ○        |            | ○        |            |
| 活用している成績率       | 支給可能な成績率 | 支給実績がある成績率 | 支給可能な成績率 | 支給実績がある成績率 |
| 上位、標準、下位の成績率    | ○        | ○          | ○        | ○          |
| 上位、標準の成績率       |          |            |          |            |
| 標準、下位の成績率       |          |            |          |            |
| 標準の成績率のみ（一律）    |          |            |          |            |
| ロ. 人事評価を活用していない |          |            |          |            |
| 活用予定時期          |          |            |          |            |

##### (2) 退職手当（7年4月1日現在）

| 天 龍 村   | 国   |
|---|---|
| (支給率) 自己都合 応募認定・定年<br>勤続20年 19.6695 月分 24.586875 月分<br>勤続25年 28.0395 月分 33.27075 月分<br>勤続35年 39.7575 月分 47.709 月分<br>最高限度 47.709 月分 47.409 月分 | (支給率) 自己都合 応募認定・定年<br>勤続20年 19.6695 月分 24.586875 月分<br>勤続25年 28.0395 月分 33.27075 月分<br>勤続35年 39.7575 月分 47.709 月分<br>最高限度 47.709 月分 47.409 月分 |
| 調整率 83.7/100  | 調整率 83.7/100  |
| その他の加算措置<br>—   | その他の加算措置<br>定年前早期退職特例措置(2%～45%加算)   |

|                                |                  |   |
|--------------------------------|------------------|---|
| 自己都合 応募認定・定年<br>1人当たり<br>平均支給額 | 3,005千円 15,305千円 | — |
|--------------------------------|------------------|---|

(注) 1 退職手当の1人当たり平均支給額は、6年度に退職した職員に支給された平均額である。

2 「応募認定・定年」のうち「定年」には、定年退職及び定年引上げ前の定年年齢に達した日以後その者の非違によることなく退職した場合を含む。

### (3) 地域手当（7年4月1日現在）

該当なし

### (4) 特殊勤務手当（7年4月1日現在）

該当なし

### (5) 時間外勤務手当

|                      |         |
|----------------------|---------|
| 支給実績（6年度決算）          | 2,501千円 |
| 職員1人当たり平均支給年額（6年度決算） | 67千円    |
| 支給実績（5年度決算）          | 3,357千円 |
| 職員1人当たり平均支給年額（5年度決算） | 76千円    |

(注) 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績（6年度決算）」と同じ年度の4月1日現在の総職員数（管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。）であり、短時間勤務職員を含む

### (6) 寒冷地手当（7年4月1日現在）

該当なし

### (7) その他の手当（7年4月1日現在）

| 手当名  | 内容及び支給単価   | 国の制度との異同 | 国の制度と異なる内容 | 支給実績（6年度決算） | 支給職員1人当たり平均支給年額（6年度決算） |
|------|--|----------|------------|-------------|------------------------|
| 扶養手当 | ・子 11,500円<br>16歳から22歳までの子<br>1人 5,000円加算<br>・子以外の扶養親族 6,500円<br>・配偶者 3,000円 | 同        | —          | 3,942千円     | 106,540円               |
| 住居手当 | ・借家の場合<br>（家賃が16,000円を超える場合に限る）<br>家賃の額に応じて28,000円<br>を限度に支給                 | 同        | —          | 1,080千円     | 29,189円                |
| 通勤手当 | ・交通機関又は乗用車などの交通用具を使用する職員に対し支給。<br>乗用車等は使用距離                                  | 同        | —          | 588千円       | 15,892円                |

|        |   |   |   |          |          |
|--------|---|---|---|----------|----------|
|        | 等に応じて2,200円～31,600円を支給  |   |   |          |          |
| 管理職手当  | 最高の号俸の給料月額<br>の100分の16を超えない<br>範囲内で支給   | 同 | — | 1,318 千円 | 35,610 円 |
| 休日勤務手当 | ・休日及び年末年始<br>の休日等に勤務した<br>場合、勤務1時間当<br>たりの給与額の125/100<br>～150/100の範囲内で<br>支給する。 | 同 | — | 0 千円     | 0 円      |
| 宿日直手当  | 1 勤務につき4,400円   | 同 | — | 2,156 千円 | 58,270 円 |

## 5 特別職の報酬等の状況（7年4月1日現在）

| 区 分              |                          | 給 料 月 額 等  |  |
|------------------|--------------------------|--|--|
| 給<br>料           | 市 区 町 村 長                | 625,000 円  | (参考) 類似団体における最高/最低額<br>814,000 円 / 457,500 円         |
|                  | 副 市 区 町 村 長              | 530,000 円  | 651,000 円 / 440,000 円                                |
| 報<br>酬           | 議 長                      | 237,000 円  | 360,000 円 / 171,000 円                                |
|                  | 副 議 長                    | 163,000 円  | 320,000 円 / 142,000 円                                |
|                  | 議 員                      | 144,000 円  | 300,000 円 / 121,000 円                                |
| 期<br>末<br>手<br>当 | 市 区 町 村 長<br>副 市 区 町 村 長 | (6年度支給割合)<br>3.45 月分                                       |  |
|                  | 議 長<br>副 議 長<br>議 員      | (6年度支給割合)<br>3.45 月分                                       |  |
| 退<br>職<br>手<br>当 | 市 区 町 村 長<br>副 市 区 町 村 長 | (算定方式)<br>625,000円×在職月数×42.5/100<br>530,000円×在職月数×25.4/100 | (1期の手当額) (支給時期)<br>12,750,000円 任期毎<br>6,461,760円 任期毎 |
|                  | 備 考                      |  |  |

- (注) 1 給料及び報酬の( )内は、減額措置を行う前の金額である。  
2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額である。

## 6 職員数の状況

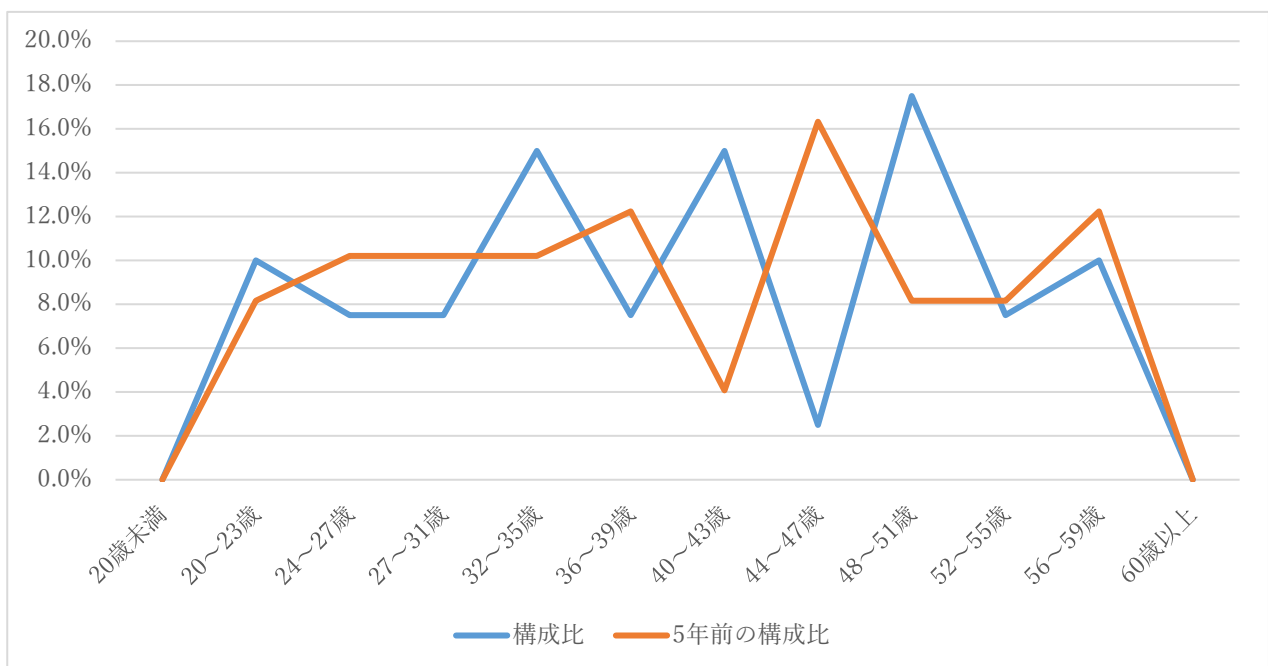
### (1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

| 部門      | 区分     |      | 職員数  |      | 対前年増減数 | 主な増減理由   |
|---------|--------|------|------|------|--------|--|
|         |        |      | 令和7年 | 令和6年 |        |  |
| 普通会計部門  | 一般行政部門 | 議会   | 1    | 1    |        | 定年退職による減   |
|         |        | 総務企画 | 12   | 12   |        |  |
|         |        | 税務   | 1    | 1    |        |  |
|         |        | 民生   | 8    | 8    |        |  |
|         |        | 衛生   | 1    | 1    |        |  |
| 農林水産    |        | 5    | 6    | △1   |        |  |
| 商工      |        | 3    | 3    |      |        |  |
| 土木      | 3      | 3    |      |      |        |  |
|         | 計      |      | 34   | 35   | △1     | <参考><br>人口1万当たり職員数 343.09人<br>(類似団体の人口1万当たりの職員数 227.58人) |
|         | 教育部門   |      | 3    | 4    | △1     | 定年退職による減   |
|         | 消防部門   |      | —    | —    |        |  |
|         | 小計     |      | 37   | 39   | △2     | <参考><br>人口1万当たり職員数 373.36人<br>(類似団体の人口1万当たりの職員数 265.35人) |
| 公営企業等部門 | 水道     |      | 1    | 1    |        |  |
|         | 下水道    |      | 1    | 1    |        |  |
|         | その他    |      | 1    | 1    |        |  |
|         | 小計     |      | 3    | 3    |        |  |
| 合計      |        |      | 40   | 42   | △2     | <参考><br>人口1万当たり職員数 403.63人                               |
|         |        |      | [48] | [48] | [0]    |  |

- (注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。  
2 [ ]内は、条例定数の合計である。

### (2) 年齢別職員構成の状況 (7年4月1日現在)



|     |            |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |            |      |
|-----|------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------------|------|
| 区 分 | 20歳<br>未 満 | 20歳<br>} 23歳 | 24歳<br>} 27歳 | 28歳<br>} 31歳 | 32歳<br>} 35歳 | 36歳<br>} 39歳 | 40歳<br>} 43歳 | 44歳<br>} 47歳 | 48歳<br>} 51歳 | 52歳<br>} 55歳 | 56歳<br>} 59歳 | 60歳<br>以 上 | 計    |
| 職員数 | 0 人        | 4 人          | 3 人          | 3 人          | 6 人          | 3 人          | 6 人          | 1 人          | 7 人          | 3 人          | 4 人          | 0 人        | 40 人 |

### (3) 職員数の推移

(単位：人・%)

| 部門別 \ 年 度 | R 6 年 | R 5 年 | R 4 年 | R 3 年 | R 2 年 | R 1 年 | 過去5年間の増減数<br>(率) |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------------|
| 一般行政      | 35    | 33    | 33    | 36    | 36    | 34    | 1(2.9%)          |
| 教育        | 4     | 4     | 4     | 4     | 5     | 5     | △2(△20.0%)       |
| 消防        |       |       |       |       |       |       | (%)              |
| 普通会計計     | 39    | 37    | 37    | 40    | 41    | 39    | (%)              |
| 公営企業等会計計  | 3     | 7     | 6     | 7     | 8     | 7     | △4(△57.1%)       |
| 総合計       | 42    | 44    | 43    | 47    | 49    | 46    | △4(△8.7%)        |

(注) 1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。

2 合併した団体にあつては、合併前の年については合併前の旧団体の合計職員数。

## 7 公営企業職員の状況

各事業とも、所属職員が1名で、個人が特定されるため公表しない。